岩盤ボーリング柱状図

調　　査　　名　災関砂防鯉の浦隣1測量調査設計業務

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　砂防 砂防

ボーリング名	B-5	**調査位置**	広島県呉市　呉市所管内			**北緯**	34° 09′ 5.1976″
発注機関	広島県西部建設事務所呉支所			**調査期間**	2019年 3月 2日 ～ 2019年 3月 7日	**東経**	132° 29′ 52.1301″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**		**ボーリング責任者**	
孔口標高	T.P. 42.55m	**角度**	180° 上下 90° 0°	**方位**	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90°	**使用機種**	**試錐機**	YBM-05		
総削孔長	16.00m								**エンジン**	NFD6	**ポンプ**	CP50

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 ×(%) 最大コア長 ○ cm RQD —[%]	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 N値 深度－N値 図	原位置試験	室内試験	削孔状況 削孔月日	削孔速度（cm／h）	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧（MPa）	回転数（rpm）	送水圧（MPa）	削孔水・送水量（L／min）	排水量（L／min）
1	40.95	1.60		砂	灰褐									分級の悪い砂、粗砂主体。若干の粘土を混入する。金色の雲母片を混入する。	03/05 2.10	3 300 1.45											
2																2 300 2.15 2.45											
3	38.55	4.00			灰褐									分級の悪い砂、中～細砂主体。若干の粘土を混入する。金色の雲母片を混入する。GL-3.85～3.9mにて粘土を混入しないサラサラの中～細砂を挟む。		2 300 3.15 3.45											
4				粘土混り砂	黒褐									分級の悪い砂。全体に粘土を混入し含水する。		3 300 4.15 4.45					86 B2	無水掘り						
5	37.35	5.20														7 300 5.15 5.45											
6	36.55	6.00		砂	暗灰～灰									分級の悪い砂、粗砂主体。φ5～20mm亜角礫混入する。		50 210 6.15 6.36											
7				砂	褐灰									粗砂～細礫。φ1～2.5mm。花崗岩起源の砂。		50 70 7.15 7.22											
8	34.40	8.15														50 80 8.00 8.08							5.0				
9				花崗岩	褐	w4		D～C	IV～III	c	DH			主に岩片状～礫状コア。岩片は軟質、ハンマーピックで濁音。一部ハンマーピックにて反発するが金属音は発しない。ハンマー打撃で容易に割れる。岩石組織を残すが岩片内部まで褐色化する。		50 100 9.05 9.15						φ66ボトム					
10																50 130 10.05 10.18								100	1.0	W2／7	7
11	31.65	10.90														50 11.00											
12	29.95	12.60			褐	δ～γ		C～D	III～II	c	CL			短柱状～岩片状コア。岩片は軟質だが下方に従い徐々に硬質となる。亀裂および潜在亀裂沿いに褐色化し全体に褐色を帯びる。		50 12.00											
13																50 13.00											
14					灰白	w3		C	II～III	c～b	CM			柱状～短柱状コア。岩片は比較的硬質でハンマーヘッドで軽音を発する。GL-13.4mまで亀裂に沿い褐色化するが13.4m以深では亀裂面が比較的新鮮。長石を多く含み全体に白色を呈する。GL-14.9～15.5m間は高角度亀裂沿いの軟質化部であり部分的にコアが劣化している。GL-14.9～16mにて亀裂面および潜在亀裂に緑簾石が認められる。		50 14.00						φ66ダイヤボトム		10.0				
15																50 15.00											
	26.55	16.00																									